

第 3 章

大学院講座 コース特化専門科目の新設

3.1 「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」の実施

社会インフラの維持管理の重要性は我が国をはじめ世界中でも認識されつつあるが、この分野に関する大学や大学院の講義はほとんど開講されていない。また、開講している大学も僅かにあるものの座学が主であり、インフラ（例えば橋梁）の変状・損傷・原因などを的確に説明するには難しい面が多々あった。そこで、本学大学院において先行的試行として、本年度後期に『コース特化専門科目「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」』を開講することとした。

実構造物がおかれている過酷な環境や劣化を実際に診ることを主目的として、カリキュラム表に示す授業内容とした。この内容は、本学工学部インフラ長寿命化センターで実施している『道守』の養成講座とほぼ同じであり、すぐに活用できるものである。

受講した学生は、本講義の開講の周知が遅れたため数名であったが、いずれの学生も学部で習得した座学および実験の知見をフルに活用して、本講座に取り組んでいた。学生からは、「橋梁点検の制度や実際の運用状況などの詳細を知りたい。」、「橋梁点検演習の時間を増やしてほしい。」、「点検と診断の違いは？ 点検－診断－措置－記録のメンテナンスサイクルの流れに沿った内容も学びたい。」などの貴重な意見があった。

大学院講座 コース特化専門科目「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」
カリキュラム表

	授業内容	講師	日時
1	道守の役割・橋梁概論・技術の変遷	松田 浩	1/15 1限
2	長崎県の道路構造物の現状と維持管理	松田 浩	1/15 2限
3	コンクリート構造物の劣化原因とその事例	松田 浩	1/16 3限
4	コンクリート橋点検時の着目点と検査技術	奥松 俊博	1/17 2限
5	鋼構造物の劣化原因とその事例	中村 聖三	1/18 1限
6	鋼橋点検時の着目点と検査技術	山口 浩平	1/18 2限
7	道路構造物の防災	高橋 和雄	1/22 4限
8	道路舗装の維持管理	西川 貴文	1/22 5限
9	トンネルの維持管理	蔣 宇静	1/23 3限
10	斜面の維持管理	杉本 知史	1/29 5限
11	鋼構造物点検演習	出水 享	1/30 3限
12	コンクリート構造物点検演習	吉田 裕子	1/30 4限
13	橋梁点検実習	山口 浩平 出水 享	2/14 4・5限
14			
15			



講座と演習の様子